

京都市の気象（平成22年） —今年の夏は記録的、この冬は？—

今年、平成22年（2010年）夏の記録的な猛暑は、すっかり寒くなった今でも、皆様の記憶に残っておられることと思います。そこで、「この夏はどのくらい記録的だったのか。」「今年11月まではどのような気候だったのか。」を振り返るとともに、「この冬は過去の統計データからみるとどうなりそうか。」を探ってみます。

なお、この記事は、平成22年11月末までの気象統計情報（気象庁発表）に基づいており、今後の気象状況によっては数値が変更となる可能性があります。

○今年の夏は記録的（その1）

まず、今年の夏がどれだけ暑かったのかを振り返ります。

月平均気温を、観測が開始された明治14年（1881年）からのデータで、それぞれの月ごとにみると、9月が9月として3位（25.9℃）になったのをはじめ、6月が6位タイ（23.7℃）、7月が11位タイ（27.6℃）と、いずれも上位に入りました。また、8月の月平均気温30.1℃は、130年に及ぶ観測史上はじめて月平均気温が30℃を超え、8月としてだけでなく、年間を通じて過去最高となりました。

続いて、天気予報でよく見聞きした、「猛暑日」、「熱帯夜」、「真夏日」の日数をみます。猛暑日（日最高気温が35℃以上）は35日で、昭和36年（1961年）以降で1位、熱帯夜（日最低気温が25℃以上）となった日数は42日で、昭和6年（1931年）以降で1位、真夏日（日最高気温が30℃以上）の日数は85日で、同じく昭和6年以降では5位タイと、いずれも記録的な日数になりました。

ちなみに、今年も夏以外にも気温の高い月があり、2月の月平均気温（6.8℃）は2月としては暖かい方から7位でした。また、2月26日には、日最低気温が13.6℃と、2月としては観測史上最も高くなりました。

表-1 京都市の月平均気温（平成22年1月から11月まで）

(単位 °C)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
気温											
日平均	4.7	6.8	8.5	12.6	18.1	23.7	27.6	30.1	25.9	19.1	11.8
日最高	9.3	11.3	13.2	17.5	23.9	28.8	32.4	35.2	31.2	23.6	16.9
日最低	0.9	3.1	4.5	8.1	13.0	19.4	24.0	26.3	21.8	15.5	7.3
平年値との差											
日平均	0.1	2.0	0.4	△1.5	△0.7	1.0	0.9	2.3	2.3	1.6	△0.1
日最高	0.4	2.0	0.1	△2.2	△0.5	1.4	1.0	2.3	2.9	1.0	—
日最低	△0.2	2.0	0.8	△0.8	△0.7	0.8	1.1	2.4	2.0	2.3	△0.3

○今年の夏は記録的（その2）

今年の夏は、暑かっただけではなく、記録的な激しい雨が降った夏でもありました。

8月12日に降った雨は、日最大10分間降水量が昭和13年（1938年）以降で4位（21.5mm）、日最大1時間降水量が明治39年（1906年）以降で5位（76.5mm）となりました。この雨で、京都市内では、床上浸水が7棟、床下浸水が59棟発生したのをはじめ、道路の通行止めや列車の運休等による交通の乱れ、停電等で、多くの方に被害が及びました。

○この冬は暖かい？寒い？

暑い夏に続くのは、寒い冬が多いのでしょうか。それとも、暖かい冬が多いのでしょうか。月平均気温の平年値が最も高い8月と、最も低い1月とのデータから、傾向を探ってみます。

昭和45年（1970年）以降の、8月及び翌年1月の月平均気温を平年値と比べたのが、図-1です。ここからは、残念ながら、夏の暑さと、冬の寒さとは、直接の関係はなさそうなことがみてとれます。

個別のデータをみても、8月の月平均気温が史上10位までの9年（今年を除きます。）は、翌年1月が平年より高め（0.5℃以上高い）が4年、平年並み（差が0.1℃以下）が3年、平年より低め（0.7℃以上低い）が2年となっています。

なお、統計データからはこの冬の気温傾向を予想できませんでしたが、気象庁が11月25日に発表した近畿地方の3箇月予報では、1月は平年並みの気温だそうです。

図-1 8月及び翌年1月の月平均気温と平年値との差

